

2歳児

※「ねらい」及び「内容」は、5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)の観点を意識して作成する。

	1期(4～5月)	2期(6～8月)	3期(9～12月)	4期(1～3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境のなかで、不安や緊張はあるものの、保育士や顔見知りの友だち、遊び慣れたおもちゃで遊んでいる。 ●落ち着いて食事をする子もいれば、手づかみや食事に集中できない子どももいる。 ●保育士に誘われてトイレで排せつするが、ときには嫌がることもある。 ●簡単な衣服の着脱を自分でしようとするが、できないときは知らせてくる。 ●滑り台や砂場など、好きなことを見つけて体を動かして遊んでいる。 ●シール貼りなどの手先を使った製作が上手になる。 ●言葉と一緒に手が出てしまい、けんかになることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園生活に慣れ、落ち着いて生活し、行動範囲も広がってきている。 ●暑くなってきて食欲が落ち、水分を多く欲しがることが増えてくる。 ●トイレで排せつし、パンツに移行する子どもが増えている。 ●自分で好きな服を選んで着替えようとするが、思うようにできない子もいる。 ●水や泥あそびなどを思い切り楽しむが、なかには汚れることを嫌う子もいる。 ●「友だちと一緒に」がうれしく、同じことをしようとするが、物の取り合いをしたり、思い通りにならないときは泣いたりたいたりすることもある。 ●言葉の数も増え、保育士や友だちとの会話を楽しむ姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動量が増え、自分で意欲的に食事をしている。 ●嫌いな物も保育士に勧められ、少しずつ食べようとする。 ●尿意・便意を感じ自分から知らせ、トイレに行くようになる。 ●行動が活発になり、いろいろなあそびに興味を示し、しようとする。 ●気の合った友だちとのあそびが持続するようになってくるが、自己主張によるぶつかり合いも多い。 ●保育士や友だちと曲に合わせて体を動かしたり、歌をうたったりして喜ぶ。 ●散歩や比治山に行き、どんぐり拾いや落ち葉拾いを楽しむ。 ●かけっこなどを通じて、勝ち負けを覚えてくるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気の合う友だちと一緒に食べることを喜び、箸が使えるようになってきている。 ●自分で布団に入って眠ったり、トイレに行ったり着替えたりするなど、身の回りのことがほぼ身についている。 ●友だちとのかわりが活発になり、大勢で遊ぶことを楽しむようになる。 ●異年齢の子どもたちに関心をもち、まねをして一緒にあそんでいる。 ●語い数が増え、楽しかった体験などを保育士や友達に言葉で伝えようとする。 ●少し寒くても元気に遊んでいる。 ●自分のクラスに限らず、他のクラスの子とのかかわりが増える。 ●おゆうぎ会に向けて、合奏や踊りを楽しく行う。
(養護・ねらい教育)	<ul style="list-style-type: none"> ◎新しい環境に慣れ、安心して、生活したり遊んだりする。 ◎保育士に手伝われながら、簡単な身の回りのことをしようとする。 ◎園庭あそびや散歩で、のびのびと体を動かしてあそびを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎適切に休息をとりながら、梅雨時季や暑い時期を健康で快適に過ごす。 ◎保育士に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ◎水あそびや、感触あそびなどの夏のあそびを十分に楽しみ、開放感を味わう。 ◎保育士や友だちとかがわって遊びながら、興味や経験を広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ◎十分体を動かしてあそぶことを楽しむ。 ◎保育士や友だちと一緒に、模倣や表現あそびを楽しむ。 ◎秋の自然にふれ、関心をもつ。 ◎ルールを覚えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎身の回りのことをする喜びを感じる。 ◎ごっこあそびや集団あそびなどを通して、友だちと遊ぶ楽しさを味わう。 ◎自分の思いを言葉で伝えようしたり、やり取りをしながら遊ぶ。 ◎冬の自然現象に興味をもち、ふれて楽しむ。 ◎さまざまな活動を通して、達成感を味わう。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的で温かい雰囲気なかで安心して過ごす。 ○保育士や友だちと喜んで食事をする。 ○保育士に誘われて、一緒にトイレに行き、排せつしようとする。 ○簡単な着脱や身の回りのことに興味をもち、保育士と一緒にしようとする。 ○保育士や友達と好きなあそびを楽しむ。 ○わらべうたや季節の歌をうたったり、手あそびをしたりする。 ○のびのびと体を動かして遊ぶ。 ○ちぎったり、貼ったりなどの簡単な製作を楽しく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて休息や水分をとり、心地よく過ごす。 ○食事の準備や衣服の着脱など、身の回りのことでできないところを保育士に手伝われながら行う。 ○少しずつ箸の練習を行っていく。 ○自分から尿意を知らせ、トイレで排せつしようとする。 ○自分からパンツやズボンを下げて排泄しようとする。 ○水・砂・泥などにふれながら夏のあそびを十分に楽しむ。 ○いろいろな素材にふれ、保育士と一緒に作ったものを見立てたり、それを使って遊ぶ。 ○保育士や友だちとごっこあそびや見立てあそびを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の変化に応じて快適に過ごそうとする。 ○楽しく食事をしながら、さまざまな食品を食べようとする。 ○簡単な衣類の着脱を自分でしようとする。 ○気の合う友だちや保育士と一緒にごっこあそびを楽しむ。 ○保育士や友だちと一緒に歌をうたったり、踊ったり、体を動かしたりして表現して遊ぶ。 ○戸外あそびや散歩を通して、秋の自然物にふれて遊ぶ。 ○簡単な製作から、少し難しい製作までできるようになってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士と一緒に手洗いをしたり、うがいをしたりする。 ○箸を使うことに慣れ、さまざまな食べ物を食べる。 ○尿意や便意を感じ、自分でトイレに行き、後始末や手洗いをしようとする。 ○年上の友だちと一緒に遊ぶ。 ○簡単なルールを理解して、集団あそびや追いかけてごっこなどで、保育士や友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。 ○簡単な物語を聞き、イメージしながら見たり聞いたりすることを楽しむ。 ○あそびのなかでイメージを広げ、言葉のやり取りを楽しみながら遊ぶ。 ○冬の自然事象(冷たい水・氷・雪)や移りゆく季節を感じる。
保育士(環境構成)と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとりひとりの不安や緊張を受け止め、ゆったりとした雰囲気なかで過ごせるように、生活やあそびの場を清潔で安全に整える。 ◆自分で食べようとする意欲を大切にし、楽しい雰囲気作りを心がける。★ ◆ひとりひとりの排尿間隔を把握し、タイミングよくトイレへ誘うようにする。 ◆簡単な身の回りのことを一緒にしやすいように、衣類入れ、おしぼり、エプロン入れなどに個人用マーク貼る工夫をする。 ◆興味をもつようなあそびや、遊び慣れたおもちゃを準備しておき、安心して遊べるように配慮する。 ◆朝の会や活動の合間に季節の歌をうたって楽しんだり、眠るときに守歌をうたって心地よく過ごし、ゆったりとかかわる。 ◆天候や気温のよいときをとらえて散歩に出かけ、春の自然にふれたり、体を動かして遊ぶ機会を多くもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆風通しや室温、健康状態などに気を配り、水分補給や休息を十分に行う。 ◆自分でできたときは一緒に喜び、手伝いが必要なときはさりげなく手を添え、自分でしようとする気持ちを大切に、さらに意欲をはぐくんでいく。 ◆体調や食事の量の個人差にこまめに対応していく。また、箸・スプーンを使って食べるので、使い方を見ていく。★ ◆トイレに子どもの好きな動物の壁面飾りをはり、明るい雰囲気を作り、ひとりひとりの排尿間隔に合わせて声をかけ、自分でトイレに行けるようにする。 ◆友だちとかがわって楽しめるように、保育士も一緒に遊び、言葉の足りないときは代弁したりしながら、相手の気持ちに気づくように根気強くかわる。 ◆水あそび用にカップなどを用意し、見立てごっこを楽しめるようにする。 ◆戸外あそび後に身体をタオルで拭き、着替えるなど、清潔に気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全身を使った活発なあそびが多くなるため、安全な環境を整え、必要に応じて水分や休息を十分にとれるように配慮する。 ◆自分で身の回りのことがしやすいように環境を見直すとともに、意欲を大切に、ひとりひとりに応じて手助けをし、できたことを十分に認めていく。 ◆友だちとかわるあそびが多くなり、ぶつかり合いも増えるので、互いの気持ちを受け止め、話をよく聞いて仲立ちをし、かかわり方を丁寧に知らせる。 ◆イメージを広げてごっこあそびを十分に楽しめるように、保育士が仲間に加わり、遊具や場の工夫をして、あそびが発展するように援助していく。 ◆運動会を通して、曲に合わせて体を動かし異年齢と一緒に楽しめるようにする。 ◆どんぐりなど拾っただけにせず、製作に使ったりと工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆手洗いやうがいなど風邪の予防に努め、室温や湿度を確認したり、換気に気を配ったりする。 ◆食事では、個人差を配慮し、ひとりひとりに応じた援助をし、自信につなげながら基本的な生活習慣が身につくようにする。★ ◆年上の子との交流を増やすことで、クラス担任同士で連携をとりながら、幼児クラスの生活を知らせ、安心できるようにする。 ◆一緒に遊びながら、集団あそびや追いかけてごっここの楽しさに共感していく。 ◆子どもの話したいことや、やりたいことを聞いて意欲をくみ取り、言葉で表現しようとする気持ちを満たすようにする。 ◆戸外あそびや比治山へ散歩をしながら、冬の自然にふれて楽しむ機会を大切にす。
の家庭連携と	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に対する不安や緊張がある子どももいるので、連絡帳や送迎時に、日々の様子を丁寧に伝え、ともに子育てを楽しんでいけるように信頼関係を築いていく。 ・参観日や家族遠足など、直接ゆっくり話し合う時間を大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調について情報交換し、元気に過ごせるように配慮する。 ・水筒や、着替え、タオルを毎日持ってきてもらうように声を掛けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園で簡単な身の回りのことを喜んでしている姿を伝え、着脱しやすい衣服を準備するよう話し、見守ることの大切さを確認し合う。 ・運動会や作品展を通して、子どもの成長の喜びを共有する。 ・個人懇談会で4月の進級に向けての話をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬に流行する病気を知らせ、うがいや手洗いの大切さを伝えながら、保護者と連携して体調管理を徹底し、健康に冬が過ごせるようにする。 ・1年間の成長を喜び合うとともに、進級について話しをする。

※★印は、食育に関連する項目

自立心の芽生え、友だち関係の芽生えをはぐくむ

2歳児は、生活のなかで必要な言葉がわかるようになってともに、歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や、指先の機能が発達していきます。まさに劇的な変化を遂げる節目の時期です。好奇心や探求心がおう盛になり、身の回りのことをなんでも自分で確かめてみたいという思いから、自分でしたいという気持ちが強くなります。食事、衣服の着脱など身の回りのことや、あそびのなかでも「ジブンデ」という思いにあふれ、大人の手を借りずに意欲的に行動しようします。「ジブンデ スル」という自己主張を大切にするとともに、ときどき見せる「デキナイ シデ」という甘えにも十分こたえ、励ましながら意欲をはぐくんでいきます。そして、「ジブンデ デキル」という自信が自己肯定的につながるよう、また、自立心の芽生えも援助していきます。同時に、行動範囲が広がり、友だちへの関心が高まる時です。保育士の仲立ちを基に、友だちと一緒に、この時期の大きな特徴である「ごっこあそび」を楽しめるような環境の工夫にも力を注ぎます。家庭と共に子どものあるがままを温かく受け入れ、友だち関係や学びの芽生えをはぐくんでいきたいと思っています。